

⑬チブガー



集落の南にあるカーで、水浴びなどに利用されていました。現在も湧き出ており、水タンクも残っています。ガニクヌメーに住んでいた人々がよく利用していました。

⑭我如古慰霊之塔・トゥンヤマグラー・ジトゥーヒヌカン（地頭火の神）



我如古では沖縄戦時に多くの犠牲者を出しました。その戦没者のために慰霊之塔が建立されました。トゥンは拝所で、現在は集落内の拝所をまとめて合祀しています。ジトゥーヒヌカンも我如古の拝所の一つです。瓦葺きの小屋があります。

⑮ガニクヌメー

沖縄戦後、捕虜となった宜野湾村民は各地の収容所を経て、米軍が割り当てた土地に住むことになりました。その土地のひとつがガニクヌメーです。ガニクヌメーには我如古・志真志・佐真下・真栄原・大謝名の地域住民が割り当てられました。その後、一部の人々は元の居住地へ戻されました。



住民たちは米軍の廃材などで家を建て、周辺の農地を耕したり、軍作業で生計を立てたりして暮らしていました。

上杉県令の通った道



沖縄公文書館提供

琉球処分後に第2代県令に就任した上杉茂憲は、人民の生活状況を把握するために沖縄本島の村落を巡回視察しています。宜野湾間切についても視察を行い、民衆や村の負債状況、製糖の安全管理などこと細かく指導しています。

その視察ルートは、西原番所から棚原を通過し、旧県道よりメーヌワイトゥイ、我如古集落内、上之川橋、その北にあったウフーモーを経て宜野湾並松街道、宜野湾番所に至ったと考えられています。このルートは、古地図に記載がないものの王府時代からの主要道路であった可能性があります。上杉県令は県令を辞す際にも沖縄の行く末を案じ、私財をなげうって奨学金を与え、近代沖縄の発展に寄与しました。

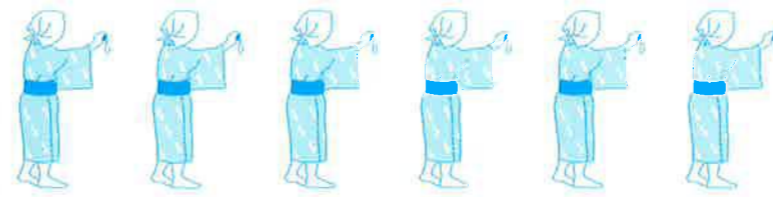
戦前の我如古集落イメージ図



編集・発行：宜野湾市教育委員会
〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩 1-1-2
Tel.098-893-4430

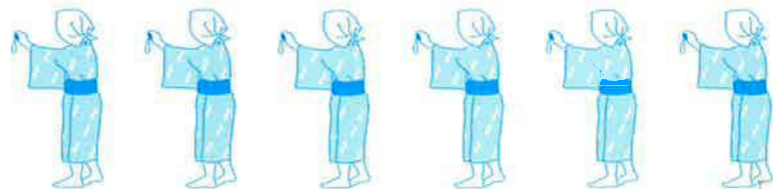
編集協力：株式会社文化財サービス
〒901-2416 中城村字和宇慶 781-43

印刷：株式会社 沖産業
〒901-2221 宜野湾市伊佐 2-1-1



我如古歴史文化遺産マップ

がにく



我如古について

我如古は宜野湾市の南端にあり、方言名でガニクと言います。1671年、宜野湾間切が成立するまでは浦添間切に属していました。

集落の南側には我如古グスクとよばれる小高い丘があります。集落の北側には志真志川、南側には比屋良川と二つの川にはさまれた集落です。湧泉も多く、かつては水田の多い集落であったようです。

我如古は沖縄戦の際、日米攻防の最前線であったため大きな被害を受けた地域のひとつです。

戦災で失われたものもありますが、今も数多くの歴史文化遺産が残っています。

世帯数:3,514 人口:7,814 (平成25年8月現在)

宜野湾市全域図



我如古の位置